

株式会社 トコちゃんねる静岡

2019年度 トコちゃんねる静岡番組審議会 議事録

開催日時 2019年6月26日(水) 14時00分～15時30分

場 所 トコちゃんねる静岡 1F会議室

出席者 <審議委員> 審議委員5名中5名の出席

神谷 雄介 委員
鈴木 昇 委員
濱崎 加穂子 委員
有田 知弘 委員
津島 裕子 委員

<トコちゃんねる静岡> 代表取締役社長 常木 真次
常務取締役 天野 忠
顧問 成岡 茂

<事務局> 鈴木 靖章、小澤 幸子

次 第 1. 挨拶(代表取締役社長 常木 真次)

報 告 1. コミュニティチャンネルの活動報告

2. 4K放送サービス提供の報告

審議番組 時をかけるアメマ! 寛平さんぽ

水 11:30～ ほか 時間 [30分]

審議概要

昨年秋にスタートした新番組「時をかけるアメマ! 寛平さんぽ」を審議番組とした。

時は江戸時代。放浪の旅をしていた寛平(間寛平)はひょんなことから現代にタイムスリップしてしまう。そこで出会った富士彦(静岡県住みます芸人)と各地を巡り、地元の風景や名産、そして人々の優しさに触れながら、静岡県、長野県、東京都を旅することに。

各委員の意見（以下、敬称略）

神谷：相対的に良く出来ていたと思う。出演者が二人とも男性だったが、女性と二人でもよいのでは。メインのタレントが年齢を重ねた渋さもあり、キャスト二人で男らしさが強く感じられるため、女性を起用するなどの柔らかさを検討してはどうか。

番組内で、映像内にスタッフが映った構図の撮影があったが、やはりスタッフは映らない方がよいと思う。出演者が積極的に一般の方とふれあっていて、一般の人の表情や声、反応がよく出ていてよかった。もっと出しても良かったと思う。

鈴木：お祭りの楽しさはわかる。全体的に MC だよりでストーリーが見えにくく、まとまりがない印象を持った。各場所でストーリーを構成を考えて、筋が通るような構成を見せた方がみている人に印象深く入ってくると思う。

濱崎：ケーブルテレビの番組で有名なタレントがでてくるのがすごいと感じた。逆にそこが目がいってしまい、お祭りはあまり入ってこなかったのが残念。

お祭りのいろんなイベントをとりあげているが、少しまとまりがない。

30分番組ということで、番組の長さも丁度よい。

有田：タレントの力はすごいなととても感じた。

同等レベルのタレントを普段から使うのは難しいと思うので、使えないときにどうしたら楽しさを伝えられるかというのが課題に思う。今回の題材は、行ったことがある場所が多く、とても楽しく見させてもらいました。内容的にも番組の長さも30分が丁度よいと感じる。

津島：年配の方とかが楽しめそう。「さんぽ」というテーマだが、イベントの最中のさんぽだとテーマが煩雑になり、イベントの魅力がもう少し伝わっても良いのではと感じる。時代劇風なところも今回のイベントとマッチしており良かった。イベント参加者とも交流しているのは良かった。ややタレントのキャラクターが強すぎたので別路線のお笑いっぽい作品になっている

【番組制作全般について】

有田：今回、徳川家康にまつわるのイベント時の撮影だったが、静岡では、久能山東照宮等などでは、命日にも大祭が行われている。今回番組に出演していたイベント参加者も参加する大がかりで見ごたえのある催しである。静岡は家康はもちろんいろいろな歴史的な話題やイベントもあるので取り上げる対象としてよいのではないかと。

鈴木：静岡県内など各地のお祭りを取材してながすのが良いのではないかと。

静岡市だけでなく地域の伝統的な文化的な記録や財産としてもっと取材をし掘り下げた番組を作ってほしい。

以上

※本議事録については、弊社ホームページ上で公開します。